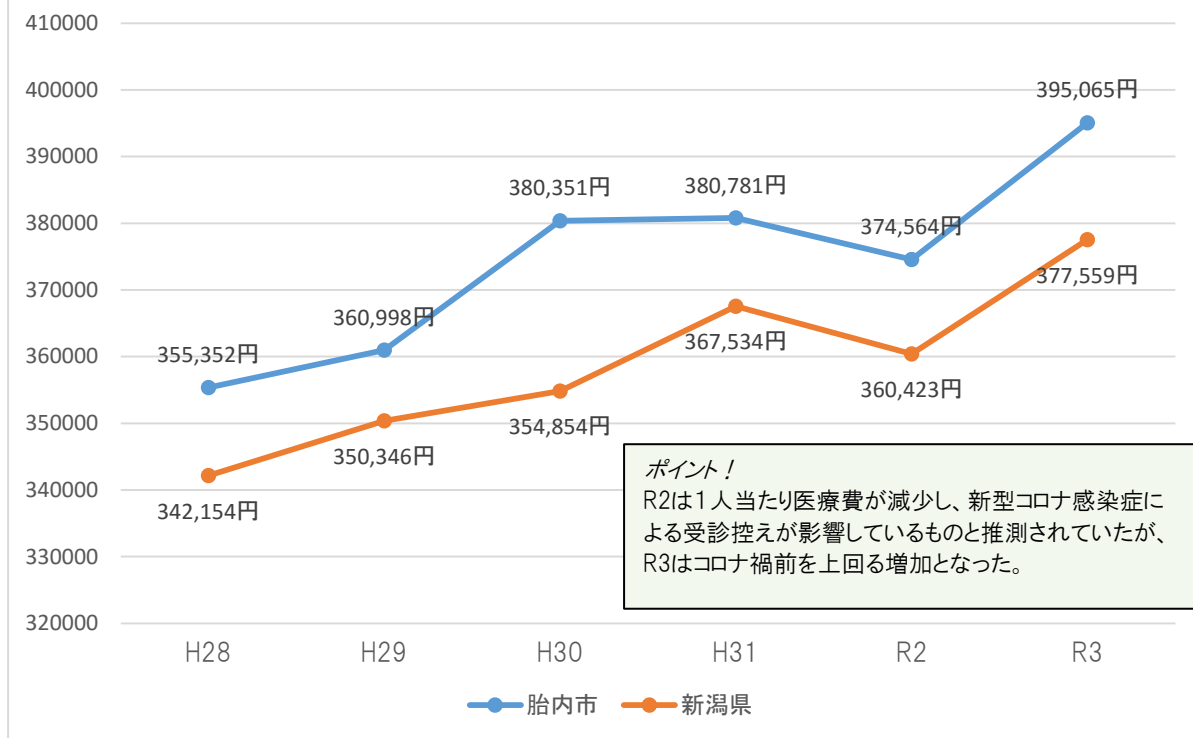
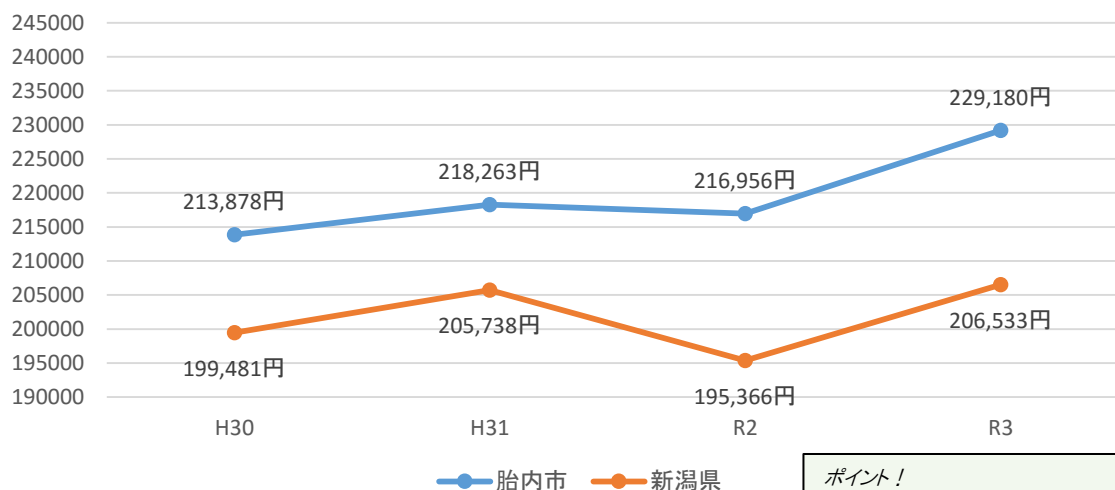


1人当たり医療費の推移 (新潟県との比較)

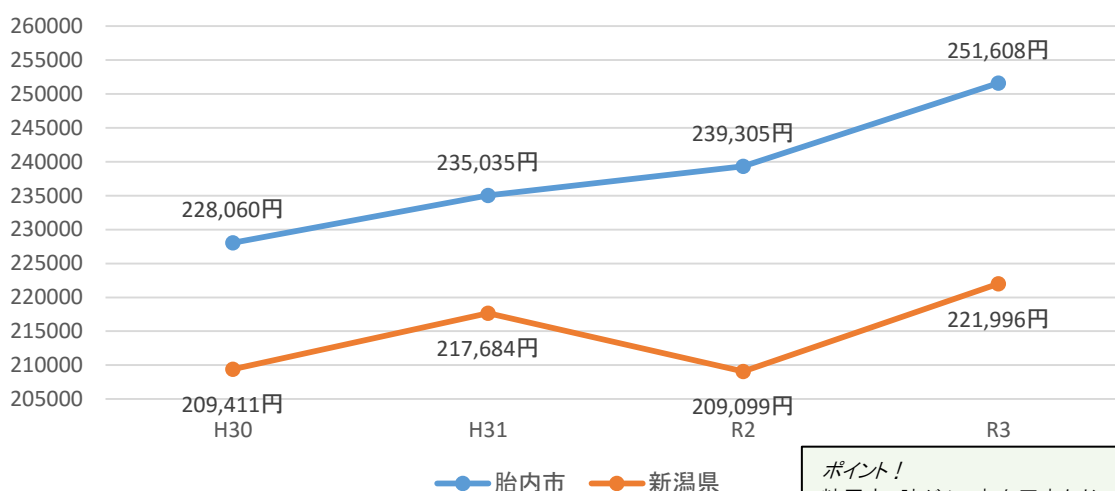


1人当たり医療費の推移(外来)



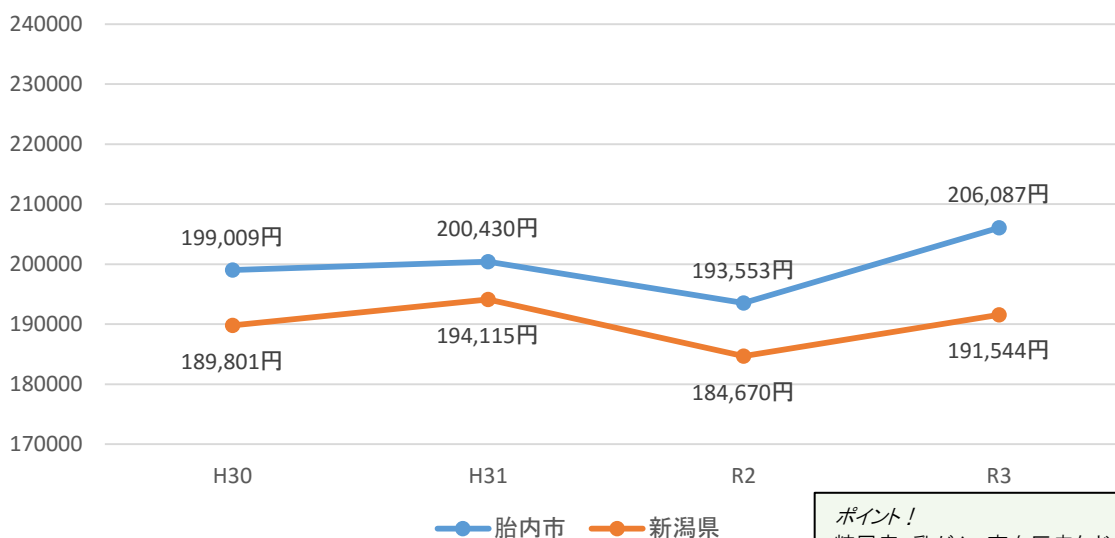
ポイント！
1人当たり医療費が増えており、H31と比較しても約5%増加した。

1人当たり医療費の推移(外来:男性)



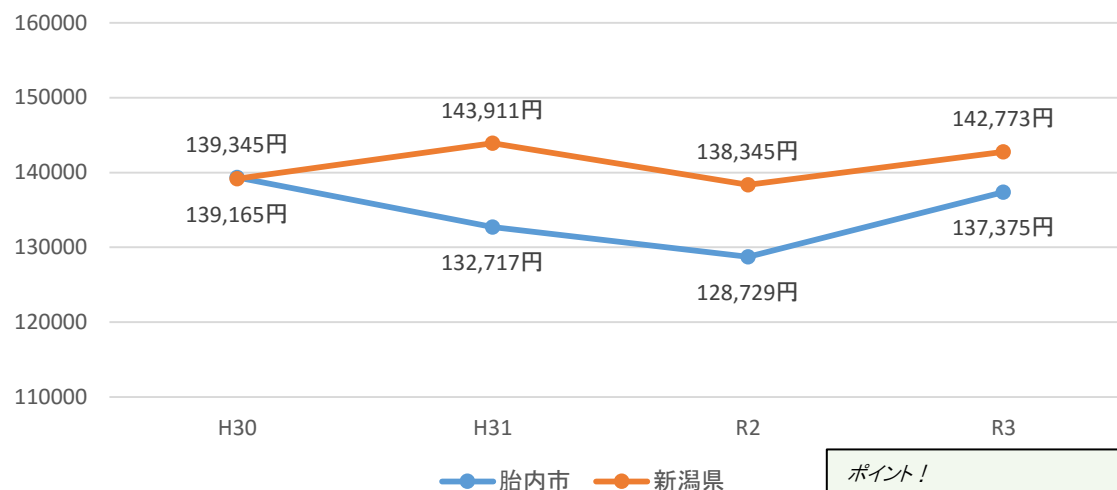
ポイント！
糖尿病、肺がん、高血圧症などの医療費が増加した。

1人当たり医療費の推移(外来:女性)



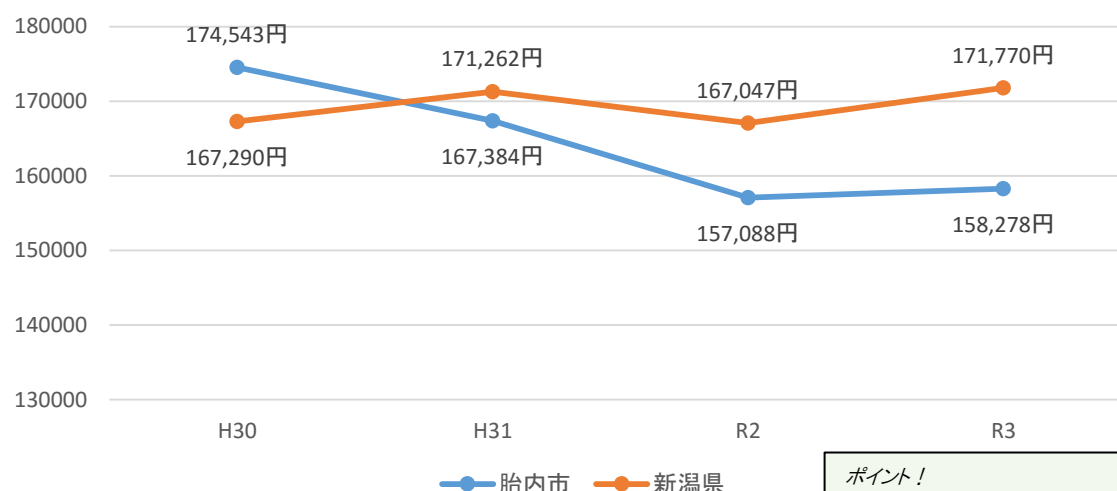
ポイント！
糖尿病、乳がん、高血圧症などの医療費が増加した。

1人当たり医療費の推移(入院)



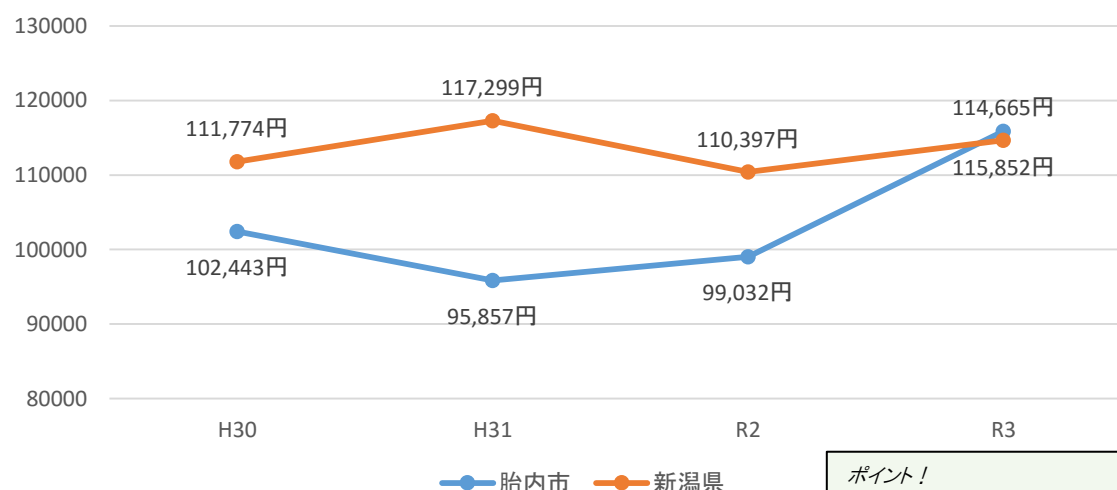
ポイント!
骨折、脳梗塞、うつ病などの医療費が増加した。

1人当たり医療費の推移(入院:男性)



ポイント!
うつ病、骨折、食道がん、胃がんなどの医療費が増加した。

1人当たり医療費の推移(入院:女性)



ポイント!
県1人当たり医療費より低い傾向にあったが今回上回る結果となった。

令和3年度 外来医療費の総額(トップ10)

男女混合

順位	疾病名	疾病別医療費	疾病別一人当たり医療費	前年度順位	前年度一人当たり医療費
1位	糖尿病	129,533,500	20,795	1位 (－)	19,125
2位	高血圧症	93,940,040	15,081	2位 (－)	14,140
3位	肺がん	79,122,920	12,702	3位 (－)	11,058
4位	慢性腎臓病(透析あり)	68,945,230	11,068	7位 (↗)	7,780
5位	脂質異常症	58,008,150	9,313	4位 (↘)	10,629
6位	統合失調症	52,986,710	8,506	6位 (－)	8,265
7位	関節疾患	49,313,380	7,917	5位 (↘)	8,350
8位	不整脈	44,490,160	7,142	8位 (－)	6,514
9位	乳がん	43,452,540	6,976	9位 (－)	4,856
10位	白血病	34,265,920	5,501	14位 (↗)	3,520

男性

順位	疾病名	疾病別医療費	疾病別一人当たり医療費	前年度順位	前年度一人当たり医療費
1位	糖尿病	76,343,180	24,159	1位 (－)	21,976
2位	肺がん	67,837,620	21,468	2位 (－)	18,296
3位	高血圧症	51,807,040	16,395	3位 (－)	15,851
4位	慢性腎臓病(透析あり)	45,115,090	14,277	5位 (↗)	9,098
5位	統合失調症	34,370,330	10,877	4位 (↘)	9,889
6位	不整脈	30,273,680	9,580	6位 (－)	8,929
7位	白血病	24,360,880	7,709	14位 (↗)	3,739
8位	前立腺がん	20,984,210	6,641	8位 (－)	6,977
9位	脂質異常症	20,972,680	6,637	7位 (↘)	7,433
10位	関節疾患	15,278,180	4,835	12位 (↗)	4,283

女性

順位	疾病名	疾病別医療費	疾病別一人当たり医療費	前年度順位	前年度一人当たり医療費
1位	糖尿病	53,190,320	17,331	1位 (－)	16,139
2位	乳がん	43,452,540	14,159	5位 (↗)	9,940
3位	高血圧症	42,133,000	13,729	4位 (↗)	12,348
4位	脂質異常症	37,035,470	12,068	2位 (↘)	13,975
5位	関節疾患	34,035,200	11,090	3位 (↘)	12,609
6位	慢性腎臓病(透析あり)	23,830,140	7,765	7位 (↗)	6,399
7位	統合失調症	18,616,380	6,066	6位 (↘)	6,564
8位	うつ病	17,321,510	5,644	8位 (－)	6,186
9位	不整脈	14,216,480	4,632	10位 (↗)	3,985
10位	骨粗しょう症	13,706,530	4,466	9位 (↘)	4,681

★色分けについて

	生活習慣病に関する疾患
	精神疾患

令和3年度 入院医療費の総額(トップ10)

男女混合

順位	疾病名	疾病別医療費	疾病別一人当たり医療費	前年度順位	前年度一人当たり医療費
1位	統合失調症	74,535,510	11,966	1位 (－)	12,179
2位	骨折	36,408,830	5,845	3位 (↗)	5,213
3位	肺がん	25,297,680	4,061	2位 (↘)	5,843
4位	関節疾患	24,376,550	3,913	4位 (－)	5,093
5位	脳梗塞	23,536,530	3,779	8位 (↗)	2,583
6位	うつ病	21,377,700	3,432	6位 (－)	2,947
7位	不整脈	17,656,940	2,835	9位 (↗)	2,576
8位	白血病	17,044,030	2,736	10位 (↗)	1,996
9位	食道がん	16,217,820	2,604	16位 (↗)	1,350
10位	慢性腎臓病(透析あり)	15,469,240	2,483	7位 (↘)	2,677

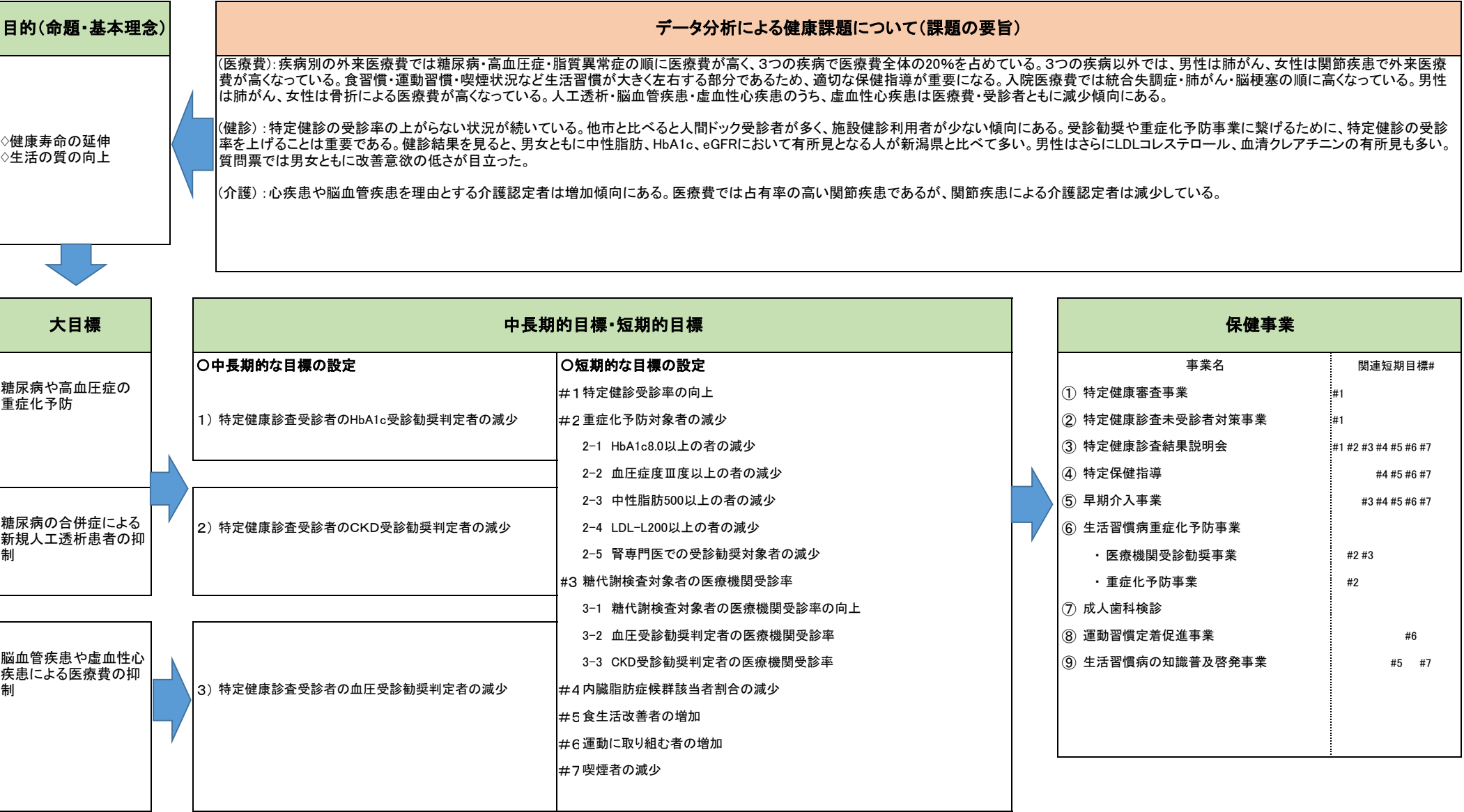
男性

順位	疾病名	疾病別医療費	疾病別一人当たり医療費	前年度順位	前年度一人当たり医療費
1位	統合失調症	45,877,450	14,518	1位 (－)	15,771
2位	肺がん	22,260,160	7,044	2位 (－)	10,256
3位	うつ病	18,299,010	5,791	4位 (↗)	5,096
4位	骨折	16,740,380	5,298	11位 (↗)	3,102
5位	食道がん	16,217,820	5,132	圏外 (↗)	2,639
6位	胃がん	14,170,510	4,484	10位 (↗)	3,374
7位	慢性腎臓病(透析あり)	13,896,990	4,398	5位 (↘)	4,154
8位	不整脈	13,061,350	4,133	7位 (↘)	3,585
9位	脳梗塞	12,872,180	4,073	6位 (↘)	3,872
10位	白血病	12,463,660	3,944	8位 (↘)	3,498

女性

順位	疾病名	疾病別医療費	疾病別一人当たり医療費	前年度順位	前年度一人当たり医療費
1位	統合失調症	28,658,060	9,338	1位 (－)	8,416
2位	関節疾患	22,975,600	7,486	3位 (↗)	7,333
3位	骨折	19,668,450	6,409	2位 (↘)	7,424
4位	脳梗塞	10,664,350	3,475	10位 (↗)	1,233
5位	小児科	9,445,520	3,078	24位 (↗)	415
6位	クモ膜下出血	7,835,240	2,553	圏外 (↗)	0
7位	パーキンソン病	7,157,350	2,332	4位 (↘)	2,280
8位	乳がん	6,709,000	2,186	11位 (↗)	1,230
9位	肝がん	6,703,990	2,184	16位 (↗)	1,064
10位	肺炎	6,191,680	2,017	18位 (↗)	748

【データヘルス計画の全体像】



事業番号	事業名	事業目的	事業概要
①	特定健康診査事業	自分の健康状態を知るために定期的に健診を受けることができる。 健診結果と生活習慣、疾病発症の関係を理解し、生活習慣改善に向けての動機づけができる。	集団健診（市内5か所）、施設健診（集団健診を受診できない方対象）、人間ドック、かかりつけ医による「みなし健診」の実施及び周知を行う。
②	特定健康診査未受診者対策事業	特定健診未受診者が、自己の身体や生活習慣を見直す手段として特定健康診査を受診する。 また、受診率を向上させるために、未受診者の未受診理由を把握し、受診しやすい体制を整備する。	未受診者に対し年齢別の方法でアプローチを行い、未受診者用に開催する集団健診か施設健診の参加を促す。
③	特定健康診査結果説明会事業	自身で生活習慣の改善プランを立て、実践することができる人を増やすために特定健診結果説明会を通して保健指導を実施する。	特定健診結果説明会の会場で、栄養講座・運動講座の説明を行う。また、個別に健診結果の確認方法や生活習慣の振り返りや生活指導、受診勧奨等を実施する。
④	特定保健指導事業	特定保健指導対象者が自分の健診結果を理解し、専門職の支援を受けながら自分に合った生活習慣改善のプランを立て実践することができる。	厚生労働省が定める「標準的な健診・保健指導プログラム」に基づき、特定健康診査の結果により保健師または管理栄養士が面接を行い、生活習慣を改善するための行動計画を決定し、自主的かつ継続的な取組が行えるよう、グループ支援や個別支援を実施する。
⑤	早期介入事業	若い年代から特定健康診査を受診し、自分の健康管理のために適切な生活習慣を送ることができる。	集団健診の受診勧奨の実施、(基準値を超えた人に対し)保健指導や受診勧奨の実施する。人間ドックの受診勧奨の実施、新規35歳の被保険者に対し個別に受診勧奨を実施する。
⑥-1	生活習慣病予防のための重症化予防事業 (医療機関受診勧奨事業)	健診受診者が自己の健診結果を理解し、重症化する前に医療機関へ受診することで生活習慣病の予防及び重症化を予防できる。	健診受診者に、それぞれ（血圧、血糖、HbA1c、CKD）の値に応じて、医療機関受診勧奨を実施する。
⑥-2	生活習慣病予防のための重症化予防事業 (保健指導事業)	健診受診者が自己の健診結果を理解し、必要な生活習慣の改善や医療機関への受診することで生活習慣病の予防及び重症化を予防できる。	事業対象者に保健指導(結果説明会の活用、訪問、来所、電話等)を実施する。→半年後を目安に訪問、来所、電話等により経過を確認し、必要に応じて再度保健指導を実施する。
⑦	成人歯科健診	歯周病と糖尿病などの生活習慣病との関連を理解し、健康の保持・増進のために成人歯科健診を受診する市民を増やす。	市と委託契約した医療機関14カ所にて問診、歯科健診、歯科保健指導を実施する。
⑧	運動習慣定着促進事業	生活習慣病予防のため継続的な運動を実践する人の割合が増える。	特定健診を受診した参加希望者に対し、市の運動施設『ぶれすぽ胎内』を活用した運動支援事業を実施する。支援内容としては、『正しい歩き方』や『運動方法全般に関する相談』などであり、ぶれすぽ胎内の職員に実施してもらう。 特定保健指導の対象者をメインに理学療法士を講師とした運動講座を行う。
⑨	生活習慣病予防の知識普及啓発事業	喫煙者がタバコと生活習慣病の関係性を理解し、喫煙本数を減少または禁煙できる人が増える。 食習慣と生活習慣病の関係について、正しい知識を深める人が増える。	集団健診受診者のうち、喫煙者に対して保健指導を実施する（短時間支援の実施）。 集団健診受診者に対して、面談や電話、文書の方法により栄養指導を実施する。 特定保健指導者や重症化予防事業対象者向けに、生活習慣病予防講座を実施する。

生活習慣病に関する分析

◎下表は生活習慣病に関する1か月の被保険者1,000人当たり外来受診者数を新潟県平均と比較したものである。

外来：令和3年度	1か月の被保険者1,000人当たり外来受診者数（延べ人数）					
	糖尿病	8人に1人が 受診	高血圧症	5人に1人が 受診	脂質異常症	8人に1人が 受診
	男	女	男	女	男	女
I 胎内市	74人	52人	107人	97人	39人	89人
II 新潟県平均	63人	41人	96人	85人	36人	74人
差(I - II)	12人	11人	12人	12人	3人	14人

⇒ 胎内市は新潟県平均と比較して糖尿病、高血圧症、脂質異常症の医療費が高い結果となっている。
市は保健事業の一環として「特定健康診査結果説明会事業」、「生活習慣病予防のための重症化予防事業」、「生活習慣病予防の知識普及啓発事業」等を行っている。

◎特定健康診査結果説明会事業

必要な人に必要な保健指導を実施するため、特定健診受診者に対し結果説明会を実施している。特定保健指導、医療機関受診勧奨、重症化予防指導の対象者にこの機会を通じて保健指導を実施する。説明会を受講できなかった人には、来所や訪問等による結果説明を行っている。

年度	対象者 (国保加入者)	結果指導実施者数
令和3年度	1,405人	1,383人 98%
令和2年度	1,372人	1,287人 94%
令和1年度	1,408人	1,317人 94%

◎生活習慣病予防のための重症化予防事業

健診受診者に血圧や血糖等の値に応じて、医療機関受診勧奨を実施する。重症化が見込まれる場合は、保健指導を実施する。

年度	対象者	医療機関受診者数と受診率
令和3年度	548人	359人 66%
令和2年度	579人	335人 58%
令和1年度	592人	344人 58%

◎生活習慣病予防の知識普及啓発事業

集団健診受診者のうち、喫煙者に対して保健指導を実施する。特定保健指導者や重症化予防事業対象者向けに生活習慣病予防講座を実施する。
令和3年度は糖尿病予防講座を3回実施した。延参加人数は89名。